

事業NO. 701	事業名	経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上① <<重点管理事業>>	水道部
-----------	-----	-----------------------------------	-----

評価対象事業名	経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	○	なし	体系	第4部 第3-1・3-(1)-②	係名	工務係	内線	3436	
計画事業名	経年管(配水管)の取り替えによる耐震性の向上			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	2.配水費
関連計画	水道法・東京都水道条例・同条例施行規則			受託水道事業特別会計	事項3.配水事業費					
事業の目的・概要	<p>目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入</p> <p>現在、飲料水を配水する配水管の一部に強度の劣る普通鋳鉄製配水管が布設されており、震災時においても安定した給水を確保するため、より強度の高いダクタイル鋳鉄製配水管に管種変更を進める。</p> <p>平成17年度当初における配水管の全体延長は、約319,200mである。これに対して、耐震強度の劣る昭和47年以前に布設された普通鋳鉄製配水管は、約31,930mが存在している。この普通鋳鉄製配水管をより強度の高いダクタイル鋳鉄製配水管に布設替える。</p>									
始期	17	年度から	終期	25	年度まで	当該事務に従事する実職員数	1.5	人または	時間	
<p>今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)</p> <p>事業の進捗については、道路管理者・交通管理者及び他企業とも速やかに協議し、事業を実施する。</p>										

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明
 計画延長3,220m

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明
 計画事業を100%実施し、経年管の残存率を3.6%とする。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H19年度	H20年度	H21年度目標	H21年度達成
活動指標 (事業・活動の内容・量)	実施延長 2,798.3m	実施延長 3,658.3m	計画延長 3,220m	実施延長 2,833.8m
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標	①残存率6.1%	①残存率4.6% (都施工分1,009m を含む)	①残存率3.6%	①残存率3.7%
予算額(千円)	329,330	570,258	491,243	491,243
決算額(千円)	328,648	570,258		484,566
執行率(%)	99.8%	100.0%		98.6%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	←					設計・施工時期							→
										←	設計等次年度準備期間		→
結果	←					設計・施工時期							→
										←	設計等次年度準備期間		→

当初計画変更の内容・理由等(※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)
 他工事との調整により、約380mについて工事中止となった。

事業NO. 701	事業名	経年管(配水管) 取り替えによる耐震性の向上② <<重点管理事業>>	水道部
-----------	-----	------------------------------------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
経年管(配水管)は、三鷹市では幹線道路内に布設されている場合が多く、都道の拡幅工事や多摩水道改革推進本部の配水本管布設にあわせて事業を進めている。他工事の影響により事業の進捗に影響が出る場合が多いため、次年度についても、関係機関とできるだけ早くからの調整を図り事業執行を進める。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	1 来年度は本年度よりコストが、1 減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 平成22年度施工予定箇所は、平成21年度よりも道路の交通量等が少ない路線であり、夜間工事等についても減少する見込みとなる。
成果面	3 来年度は本年度より成果が、1 増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 経年管の取り替えについては計画的に実施しているが、今後残存する管については、都市計画道路の予定路線や多摩水道改革推進本部の配水本管の布設とあわせて実施するため実施延長は減少方向となる。
中 間 評 価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 1 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 水道事業の移行計画にあわせ、工事監督等を委託する。
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見) 評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
	改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見) 重点的に取り組む課題とする。

《事業の事後評価》

事 業 後 評 価	進捗状況評価(当初計画に対して)	1 1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	2 1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2 1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低
主管課 事後 評価	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針 当初予定の3,220mに対し、他工事との調整等により約380mについて工事中止となり、実施延長は2,833.8mと減少した。一方で配水管新設工事が予定以上の延長を施工し配水管総延長を伸ばしたことにより、経年管の残存率を3.7%とした。 工事中止箇所については、早期の実施を図るとともに、次年度については、道路管理者や関係機関と十分な調整を図り、計画的・効率的な事業を実施していく。	
評 価	審査会 評価	進捗状況評価 1 成果に対する評価 2 効率性・経済性に対する評価 2 (特記意見)

事業NO. 702	事業名	初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向上① 《重点管理事業》	水道部
-----------	-----	----------------------------------	-----

評価対象 事業名	初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向上				部課名	水道部工務課						
					係名	工務係		内線	3436			
基本計画掲載	あり	なし	○	体系	第4部 第3-1・3	歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1. 水道管理費	目	2. 配水費
計画事業名	震災対策の推進				受託水道事業特別会計	事項 3. 配水事業費						
関連計画	水道法・東京都水道条例・同条例施行規則				補助区分	国	都	○	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 現在、飲料水を配水する配水管の一部に耐震性の劣る初期ダクタイル管(昭和30年代から40年代に布設されたダクタイル鑄鉄管と高級鑄鉄管の異形管の混在している路線)があり、震災時においても安定した給水を確保するため、新たにダクタイル鑄鉄管への管種変更を進める。

概要 平成21年度当初における配水管の全体延長は、約329,200mである。これに対して、耐震性の劣る初期ダクタイル管(重要路線)は、約8,435mが存在している。この初期ダクタイル管を新たにダクタイル鑄鉄管に布設替える。
なお、平成22年度からは、一般路線の初期ダクタイル管(4,508m)についても着手する予定で、東京都水道局では、重要路線ともあわせ平成30年度の完了を目標としている。

始期 21 年度から 終期 30 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人または 時間
今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

計画延長580m

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

計画事業を100%実施し、初期ダクタイル管の残存率を2.3%とする。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

年度別明細	H19年度	H20年度	H21年度目標	H21年度達成
活動指標 (事業・活動の内容・量)			計画延長 580m	実施延長 614.9m
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標		①残存率4.1%	①残存率2.3%	①残存率3.9% (含一般路線1.6%)
予算額(千円)			43,256	42,765
決算額(千円)				40,880
執行率(%)				95.6%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				設計・施工時期								
								設計等次年度準備期間				
結果				設計・施工時期								
								設計等次年度準備期間				

当初計画変更の内容・理由等 (※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)
当初計画どおり実施。

事業NO. 702	事業名	初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向上② <<重点管理事業>>	水道部
-----------	-----	------------------------------------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
初期ダクタイル管の布設替えについては、公共施設等の近くが多く、他企業や下水道工事と隣接することが多いため、早期の調整が必要となる。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	3 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 平成22年度の布設替え予定箇所については、配水管の管径も大きく、また特殊舗装が存在するため工事費が増加する。
成果面	1 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 施工箇所が平成21年度より2か所増え、延長についても240mの増となる。
中間評価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 1 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 水道事業の移行計画にあわせ、工事監督等を委託する。
	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見) 評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
事後評価	改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見) 重点的に取り組む課題とする。

《事業の事後評価》

事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して) 1 1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して) 1 1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価 2 1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低
主管課事後評価	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針 当初予定の580mに対し614.9mと当初予定を上回った延長を施工し、初期ダクタイル管の残存率を3.9%として計画どおり達成した。 次年度についても、道路管理者や関係機関と十分な調整を図り、計画的・効率的な事業を実施していく。
審査会評価	進捗状況評価 1 成果に対する評価 1 効率性・経済性に対する評価 2 (特記意見)

事業NO. 703	事業名	都営水道事業の事務委託解消に向けた取り組み① <<重点管理事業>>	水道部
-----------	-----	-----------------------------------	-----

評価対象事業名	都営水道事業の事務委託解消に向けた取り組み				部課名	水道部業務課								
基本計画掲載	あり	○	なし	体系	第4部	第3-1・5-	(1)-①	歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	5.業務費
計画事業名	都営水道事業の事務委託解消への対応				受託水道事業特別会計	事項	2.業務事務費							
関連計画	水道業務移行計画(三鷹市)				補助区分	国		都	○	市単独				
事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入														
目的	事務委託方式で行われている水道事業について、平成23年度末に同方式を解消し、すべての業務を東京都水道局へ移行するため、今後3年間の段階的なスケジュール管理を行い、市民サービスの低下を招くことのないよう配慮しながら円滑な移行を図る。													
概要	三鷹市との協議に基づき、平成18年3月、東京都において策定した「水道業務移行計画(三鷹市)」に沿って、業務内容や組織、人員体制等の見直しを行い、事務委託方式の解消に向けた手続きを順次進めていく。													
始期	20	年度から	終期	23	年度まで	当該事務に従事する実職員数	0.5	人または	時間					
今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)														
平成23年度末に予定されている事務委託方式の解消について、都と十分協議のうえ、平成22年度以後の業務内容のあり方について協議する。また、組織、人員体制等について、都及び市との調整を図っていく。														
今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明														
事務委託解消に向けた業務内容、人員体制等についての都及び市との協議、調整等を活動指標とする。														
今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明														
事務委託解消に向けた業務内容、人員体制等についての都及び市との協議、調整等をまちづくり指標とする。														
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)														
年度別明細	H19年度	H20年度	H21年度目標	H21年度達成										
活動指標(事業・活動の内容・量の)		委託解消に向けた業務内容、組織、人員体制等の検討	事務委託方式解消に向けた業務内容、組織、人員体制等の協議	事務委託方式解消に向けて、業務系業務の移行時期を1年前倒し、平成22年度からの業務の一部委託について協議し、具体化した。										
まちづくり指標(成果指標) ①行政指標 ②協働指標		①業務内容、組織、人員体制等の具体化	①事務委託方式解消に向けた業務内容、組織、人員体制等の協議	①事務委託方式解消に向けて、業務系業務の移行時期を1年前倒し、平成22年度からの業務の一部委託について協議し、具体化した。										
予算額(千円)														
決算額(千円)														
執行率(%)														
年間の実施スケジュール														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
当初計画	← 事務委託解消までの業務内容、組織、人員体制等の検討 →						← 平成22年度以後の体制確定及び準備 →							
	← 東京都との協議 →						← 平成22年度以後の体制確定及び準備 →							
結果	← 事務委託解消までの業務内容、組織、人員体制等の検討 →						← 平成22年度以後の体制確定及び準備 →							
	← 東京都との協議 →						← 平成22年度以後の体制確定及び準備 →							
当初計画変更の内容・理由等(※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載) 当初計画どおり実施。														

事業NO. 703	事業名	都営水道事業の事務委託解消に向けた取り組み② <<重点管理事業>>	水道部
-----------	-----	-----------------------------------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向

平成23年度末の事務委託方式解消に向けて、東京都水道局との協議を含め計画どおりに進行している。平成22年度は、4月に一部業務を委託し、さらにそのうちの一部を先行して平成22年度末に事務委託方式を解消する。業務委託及び事務委託方式解消において、市民サービスの低下を招くことのないように配慮しながら円滑な移行を進める。

主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)

コスト面 **3** 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載)
(理由) 窓口業務、設計・工事監督業務の委託による費用増のため。

成果面 **1** 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載)
(理由) 事務委託解消を前に委託を進めることにより、今後の円滑な事務移行が期待できる。

今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について **1** 1ある・2ない・3その他
(理由及び具体的内容) 事務委託解消に向けて、業務係業務及び工務係の一部の業務について、委託を行う。

改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見)

評価 **1** 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
業務の円滑な移行に向けて、委託とサービスの質について、十分に協議、調整を行うことが望ましい。

改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見)

重点的に取り組む課題とする。
事務委託解消に向けた取り組みについては、関係部署と協議しながら取り組みを進めること。

《事業の事後評価》

事後評価	進捗状況評価(当初計画に対して) 1 1当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2若干遅れた・3大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して) 1 1大(目標の指標等を達成)・2中・3小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価 2 1高(特別の成果あり)・2中・3低
総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針	進捗状況としては、円滑な移行に向けて徴収系業務の移行時期を平成22年度末とすることが確定したほか、業務係業務及び工務係業務の一部業務の民間委託化について、具体化することができた。成果に対する評価としては、活動指標及びまちづくり指標に掲げた事務委託解消に向けた業務内容、組織、人員体制等の協議が十分整い、当初の成果目標を達成することができた。効率性・経済性については、事務委託方式解消を見据え、民間委託化によりあらかじめ業務を移行することで、円滑化、効率化を図ることが可能となった。
審査会評価	進捗状況評価 1 成果に対する評価 1 効率性・経済性に対する評価 2 (特記意見) 平成23年度末に解消する事務委託方式について、着実に移行するため、今後も東京都と協議し、市民サービスが低下しないよう取り組むことが有効と思われる。

事業NO. 704	事業名	配水管の新設による配水管網の整備①	《部内管理事業》	水道部
-----------	-----	-------------------	----------	-----

評価対象事業名	配水管の新設による配水管網の整備			部課名	水道部工務課								
基本計画掲載	あり	○	なし	体系	第4部	第3-1・1-(3)-②	歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	2.配水施設費
計画事業名	配水管網の整備			受託水道事業特別会計	事項	2.配水施設事業費							
関連計画	水道法・東京都給水条例・同条例施行規則			補助区分	国		都	○	市単独				

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	配水管の新設工事を実施することにより、より効率的な配水管網の整備を図る。												
概要	経年管布設替え工事やその他の水道工事にあわせ、隣接した公道や私道に配水管を新設し、複数の配水管路を接続するループ化を進め、事故等におけるバックアップの強化を図る。 また、都市計画事業等の推抄にあわせ、配水管の新設工事を実施する。												

始期 年度から 終期 年度まで 当該事務に従事する実職員数 2.5 人または 時間

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)

前年度に引き続き、事業の効率化と市民サービスの向上に向け、配水管網の整備を進める。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

計画延長を3,740mとする。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

より効率的な配水管網の整備で年間計画100%を目指し、市民サービスの向上を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)

年度別明細	H19年度	H20年度	H21年度目標	H21年度達成
活動指標(事業・活動の内容・量)	実施延長 4,996.8m	実施延長 4,680.1m	計画延長 3,740m	実施延長 4,976.8m
まちづくり指標(成果指標) ①行政指標 ②協働指標	①より効率的な配水管網の整備が図られた。	①より効率的な配水管網の整備が図られた。	①年度計画の100%実施	①より効率的な配水管網の整備が図られた。
予算額(千円)	359,872	405,480	429,505	376,596
決算額(千円)	350,296	384,618		319,859
執行率(%)	97.3%	94.9%		84.9%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				設計・施工時期						設計等次年度準備期間		
結果				設計・施工時期						設計等次年度準備期間		

当初計画変更の内容・理由等(※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)
当初計画どおり実施。

事業NO. 704	事業名	配水管の新設による配水管網の整備②	《部内管理事業》	水道部
-----------	-----	-------------------	----------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
配水管の新設は経年管の布設替え等とあわせて実施してきたが、本年度は東京都の道路整備計画等の工事による布設路線が多く、未だ工事の確定をしていない路線も存在していることから、東京都建設局と綿密に調整をしているところである。今後とも、道路管理者及び関係企業と早期に調整し実施していく。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	3 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 施工単価については、本年度と同額程度となる見込みであるが、計画延長の増に伴い総コストは増加する。
成果面	1 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 来年度は公道及び私道へのループ化を積極的に進めるため計画延長の増を検討している。
中 間 評 価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 1 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) 水道事業の移行計画にあわせ、工事監督等を委託する。
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見) 評価 1 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見) 未確定工事に関しては、早期の着工を目指し関係機関との調整を綿密に進めることが有効と思われる。
	改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見) 評価を踏まえ予算化に努める。

《事業の事後評価》

事 後 評 価	進捗状況評価(当初計画に対して)	1 1 当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2 若干遅れた・3 大きく遅れた				
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	1 1 大(目標の指標等を達成)・2 中・3 小又はなし				
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	2 1 高(特別の成果あり)・2 中・3 低				
主 管 課 評 価	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針 当初予定の3,740mに対し4,976.8mと当初予定を上回った延長を施工し、給水管の整理や配水管のループ化により、効率的な管網整備をすることができた。 次年度についても、道路管理者や関係機関と十分な調整を図り、計画的・効率的な事業を実施していく。					
評 価	進捗状況評価	1	成果に対する評価	1	効率性・経済性に対する評価	2
評 価	(特記意見)					

事業NO. 705	事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上① << 部内管理事業 >>	水道部
-----------	-----	------------------------------------	-----

評価対象事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	○	なし	体系	第4部	第3-1・3-(1)-③	係名	給水係	内線	3433
計画事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	3.給水費
関連計画				受託水道事業特別会計	事項	3.給水事業費				
				補助区分	国		都	○	市単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 配水管と給水管の一体的な耐震化を図り、管路全体の耐震性を向上させる。

概要 配水小管から宅地内第一仕切弁までの口径75mm以上の給水管の中で、耐震強度の劣る普通鑄鉄管などをより強度の高いダクタイル鑄鉄管に布設替える。なお、本事業とともに経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上においても、大口径給水管の布設替えを進め、平成23年度までに残存率0%を目指す。

始期 19 年度から 終期 23 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人または 時間

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)
前年度に引き続き、施工箇所における他工事や水道使用者の状況などを勘案し、工事を進める。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明
2か所の大口径給水管の耐震化を図る。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明
経年管(配水管)の取り替え予定箇所及び他工事との調整を行い、年度計画の100%実施を目指す。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H19年度	H20年度	H21年度目標	H21年度達成
活動指標(事業・活動の内容・量)	6か所の耐震化	7か所の耐震化	2か所の耐震化	2か所の耐震化
まちづくり指標(成果指標) ①行政指標 ②協働指標	①年度計画の60%実施	①年度計画の88%実施	①年度計画の100%実施	①年度計画の100%実施
予算額(千円)	12,819	14,724	9,450	9,450
決算額(千円)	12,548	14,680		9,230
執行率(%)	97.9%	99.7%		97.7%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		← 設計・施工時期 →											
結果		← 設計・施工時期 →											

当初計画変更の内容・理由等(※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)
2か所の施工のうち1か所は都道及び公園敷地の掘削があり、関係機関との調整の結果、施工日程を変更することとなったため。

事業NO. 705	事業名	大口径給水管の取り替えによる耐震性の向上② <<部内管理事業>>	水道部
-----------	-----	----------------------------------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向	
本事業は、平成23年度までの事業であったが、東京都水道局との調整により平成21年度で終了する。今後は、残存する大口径給水管の取り替えを経年管取り替え事業に付随して進めていく。	
主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要)	
コスト面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載)
(理由)	
成果面	<input type="checkbox"/> 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載)
(理由)	
中 間 評 価	今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について <input type="checkbox"/> 1ある・2ない・3その他
(理由及び具体的内容)	
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見)	
評価	<input type="checkbox"/> 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見)
	残存する大口径管給水管の布設替えに関しては、市民サービスが低下しないように関係機関と早期に協議、調整を行うことが望ましい。
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成21年度の取り組みに対する意見)	

《事業の事後評価》

事 業 後 評 価	進捗状況評価(当初計画に対して)	<input type="checkbox"/> 1 1当初計画通り(計画以上の進捗を含む)・2若干遅れた・3大きく遅れた
	成果に対する評価(活動指標・まちづくり指標に対して)	<input type="checkbox"/> 1 1大(目標の指標等を達成)・2中・3小又はなし
	効率性(事業の効率的実施)・経済性(予算のコスト削減等)に対する評価	<input type="checkbox"/> 2 1高(特別の成果あり)・2中・3低
主管課 事後 評 価	総合評価(進捗状況、成果、効率性・経済性の評価を踏まえて)及び次年度の実施方針	
	今年度予定の2か所の施工を完了したことによって、平成21年度をもって当事業をすべて完了した。 なお、平成19年度当初に予定していた計画34か所のうち、残る17か所については、経年配水管の布設替え工事にあわせて解消を図る。	
審査会 評 価	進捗状況評価	<input type="checkbox"/> 1
	成果に対する評価	<input type="checkbox"/> 1
	効率性・経済性に対する評価	<input type="checkbox"/> 2
	(特記意見)	